

(一般社団法人) 大学女性協会仙台支部便り

「け や き」 No. 25

令和 5 年 6 月 30 日発行



最近の活動と参加人数

- 2023 年 2 月 18 日 (土) 「2022 年度 新年会」
仙台国際ホテル レストラン・ロジェドール (15 名)
- 4 月 22 日 (土) 「2023 年度 支部総会」
「和漢ハーブティーのお話」(U. I. 会員)
日立システムズホール 会議室 3 (12 名)
- 5 月 20 (土) -21 日(日)
「2023 年度全国総会」「第 12 回定時会員総会」
東京 (仙台支部から 1 名)

本号の内容

- 2023 年度 支部長あいさつ (F. A.)
新役員あいさつ (A. I.)
支部総会ご報告 & 「和漢ハーブティーのお話」をうかがって (C. A.)
トルコ大地震支援募金についてのご報告 (K. U.)
2023 年度 全国総会ご報告 (F. A.)
2022 年度 新年会 (M. U.)
チャイルド・ファンド・ジャパン (Y. M.)
今後の予定

2023 年度 支部長あいさつ

F. A.

向暑の候、皆様にはお変わりなくお過ごしのことと存じます。昨年度は、支部総会、コロナ禍で長い間延期になっていました交流会「私と藤崎」(お話: K. U. 会員)、公開講演会「北欧のミステリー小説から見るジェンダーの問題」(講師: 中屋紀子会員)、美術館鑑賞会「フェルメールと 17 世紀オランダ絵画展」、新年会(お話: H. W. 会員)と、ようやくこれまで通りの活動を再開することが出来ました。久しぶりにみんなで顔を合わせて、和やかに話し合い、また新しいことを勉強できることは、本当に喜ばしく、楽しいことでした。

今年度は、8 月に交流会(お話: A. I. 会員)、秋には公開講演会(講師: 吉川貴子会員)を予定しております。皆様、是非ご予約下さい。

今年度も、女性が輝けるよりよい社会に少しでも近づけるよう、活動していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

新役員あいさつ

A. I.

このたび仙台支部会員として大学女性協会に参加させていただくことになりました A. I. と申します。入会したばかりで僭越ながら監事の役も承ることになってしまい恐縮です。

職業はピアノを生業としており、演奏と指導をメインに活動しています。宮城県芸術協会と日本ピアノ教育連盟の仕事とうまく調整をつけながら、こちらの活動にも貢献できればと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

支部総会ご報告 & 「和漢ハーブティーのお話」をうかがって

C. A.

4月22日（土）12時15分～、日立システムズホール会議室3にて、12名の会員の皆さまにご出席いただき支部総会が開催されました。司会の Y. S. さんの開会宣言に始まり、2022年度の事業報告、収支決算報告、監査報告、2023年度の事業計画案、予算案が滞りなく承認されていきました。また、任期の途中ではありますが監事の A. M. さんがやむを得ないご事情により辞任のご意向を示されたため、A. I. さんに役員就任をお願いしておりました。本総会で監事の交代が正式に承認されたことをご報告いたします。

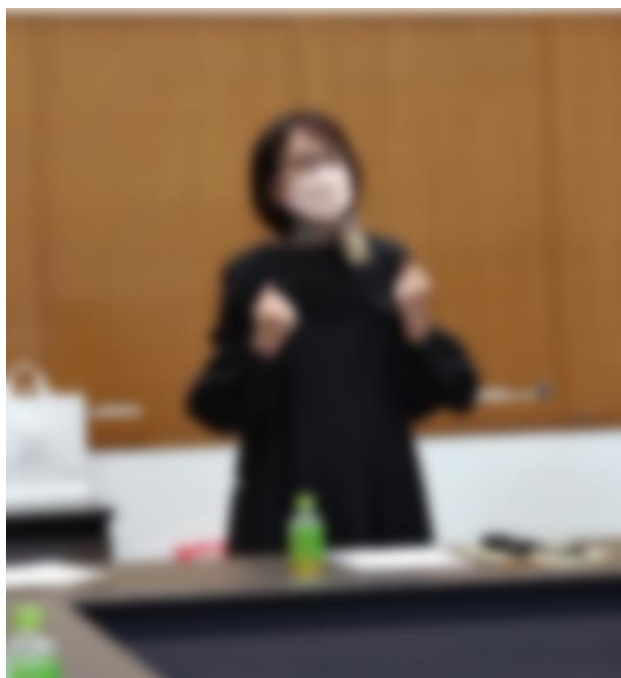
総会終了後はおいしいお弁当を皆さんでいただきながら、雑談に花を咲かせました。トルコ大地震で被災した女子学生を支援する募金も、この場で集めることができました。（募金については会計の K. U. さんの報告を御覧ください。）



無事に総会が終わり、歓談のひとつとき。

食事の後は Y. I. さんの講演「和漢ハーブティーのお話」です。Y. I. さんは、Y. M. さんの高校の後輩にあたられます。仙台にお住まいのお姉さまの近くでご両親と暮らすため、こちらに来られたそうです。現在は市内の高校で家庭科を教えておられ、毎日忙しく過ごしておられます。

お話が始まる前から、普通のお茶とはちょっと違った淡い色合いのハーブティーがガラスポットに入れて並べられ、会場にはいい香りが漂っていました。数種類のハーブをブレンドしたもので、複数の材料を組み合わせる点は漢方薬に似ています。クコ、ハトムギ、棗など、漢方薬によく使われる植物も入っていました。こちらは薬のように煮出すのではなくお湯を注ぐだけでいいので、毎日の生活に取り入れやすそうです。本来は一人一人の体質に合わせてブレンドする材料を変えるそうですが、当日は簡易的に、3種類のブレンドティーを Y. I. さんが用意してくださいました。チェックシートで大体の体質を見極めたら、自分に合ったハーブティーを選んで試飲タイムです。皆さん味見と称して全種類のお茶を飲まれていたようで、味や香りについて楽しく感想を述べあっていました。一般に、自分の体質に合っている漢方薬は美味しく感じると言われています。ハーブティーも同じなのかもしれません。早速、通信販売でブレンドしたハーブティーのティーバッグを取り寄せてみました。カフェインを気にせず夜でも飲めるので重宝しています。Y. I. さん、楽しいひと時をありがとうございました。



↑ 体質を考慮して、3種類の中から自分にぴったりのハーブティーを選ぶ。

←Y. I. 会員。ハーブを健康的な暮らしに取り入れる工夫を提案。

トルコ大地震支援募金についてのご報告

K. U.

トルコ大震災の想像を絶する被害が伝えられる度に、皆様も他人事ではない辛い辛い思いを感じられたのではないのでしょうか。その中で2月19日に、役員会のLINEにY. M. さんからご提言が上げられました。「トルコ地震に、仙台支部として何かできないでしょうか？東日本大震災では世界からの支援を東北の子供達に頂きました。」

Y. S. さんから直ぐに返信がありました。「本部が動けば、仙台支部として少しでも本部を通して支援できるのでは？」

次いで R. Y. さんから「Y. S. さんの言うように本部でも動いていると思うので、支

部長さんから支部担当理事に連絡をとってみたいかがでしょうか？」とのご提案があり、F. A. さんが本部に問い合わせして下さいました。

2月27日に本部から『トルコ大地震支援募金へのお願い』のメールが届きました。内容は「トルコ大学女性協会（TAUW）からの報告では、TAUWのミッションは教育であり、被災した女子学生を支援するために基金を立ち上げたとのこと。この度は、JAUWの各支部で震災支援募金活動をして頂き、全国総会終了後にまとめてJAUWとしてTAUWに支援金を送金する事が理事会で承認されました」（部分）というものでした。募金の支援先が、まさにJAUWの活動目的に適ったものである事を嬉しく思いました。

仙台支部では、会員の皆様に本部の口座をお知らせして募金をお願いし、また支部総会の日には、R. W. さんの手作り募金箱を置いてご協力を頂きました。その結果、集まりましたご寄附は、43,000円になりました。5月末に「仙台支部：トルコ大地震支援金」として送金させて頂きました。

早速、国際支援担当の岡崎優子理事よりお礼のメールを頂き、支部の皆様に宜しくお伝え下さい、とのことでした。個人で直接本部口座にお振り込みくださった方もいらっしゃるかと思います。支部の皆様の温かいご協力に心から御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

被災されたトルコの方々が1日も早く平穏な日常を取り戻される事を願ってやみません。

2023年度 全国総会ご報告

F. A.

5月20日、21日、グランドプリンスホテル新高輪で行われた全国総会に出席いたしました。G7広島サミットが行われている週末で、テロ対策として東京都内主要駅でも全てのコインロッカーが使用できないとのこと、荷物を最小限にまとめて出かけました。

20日の支部長会には全国から19支部が出席しました。まず、第1号議案の貸借対照表、正味財産増減計算書の差し替えについて説明がありました。本部の会計理事は本来2名なのですが、昨年度は1名欠員。渡部理事がお一人で頑張られて、決算の時期に体調を崩されてしまったとのことでした。また、新たに事業8「若手女性科学者海外研修助成事業」が開始されたことが報告されました。その後の懇親会には、約60名が出席。後半では女性邦楽演奏家3名による演奏を解説付きで楽しみました。

翌日午前の定時会員総会では全ての議案が承認されました。午後の委員会報告の中で、生涯学習委員会から、「災害の記憶をつなぐ」が発刊されたことが報告されました。2020年、この企画のための原稿募集があった際、R. Y. 会員のご発案で、委員会に「けやき」の「震災特別号」をお送りしました。それがきっかけとなって、神戸支部や他の支部からの協力も得られたそうです。総会后、当時連絡のやり取りをしました渡部委員（会計理事でもあられます。）より、感謝の言葉をいただきました。皆さまご協力ありがとうございました。

来年の総会開催地はまだ決まっていないそうです。2013年の会員数は995人、2023年の会員数は627人。来年は600人を切るのではと、岩村会長は危惧されておりました。そのような状況で、これまでのような大規模な総会は難しいかもしれない、対面とオンラインのハイブリッドなど、総会のあり方を考えていかなければならない、と話されました。翌日の研修（歌舞伎鑑賞、ランチクルーズ）には残念ながら仕事のため参加できず、帰途につきました。



← 全国総会。全員が緊張した面持ちで、議案の審議が進んでいく。

→ 夜の懇親会。和やかなムードで邦楽の生演奏に耳をかたむける。



2022年度 新年会

M. U.

2月18日（土）12時より、仙台国際ホテルのレストラン『ロジェドール』に於いて、今年の新年会が催されました。昨年も2月に予定されていましたが、まだコロナの影響が続き開催が延期となり、3月に【桃の会】と改めて開催されました。その日は偶然私の誕生日でそのことを一言挨拶で申しましたところ、レストランより綺麗なバースデープレートを頂き、皆様がお祝いをして下さいました。とても嬉しい一日でした。

あれから早一年。今年はコロナも少し落ち着いてきて、予定通りの2月に【新年会】として開催されました。参加人数も昨年より2名多い15名の会員の皆様が集まり、再び美味しい『ロジェドール』のお料理を頂きながら、お喋りや笑い声が飛び交う楽しい会となりました。

今年はH.A.さんの司会進行により、最初に支部長のF.A.さんからご挨拶を頂きました。そしてF.A.さんより新規会員のH.W.さんのご紹介がありました。H.W.さんは東北大学ニュートリノ科学研究センターに所属されている研究者で、ご主人はアメリカ人。5歳の男の子のお母さんでもいらっしゃるとのこと。ご紹介を受けて椅子か

ら立ち上がられた H.W. さんは、頭脳明晰な上にスラリとした美人!! 次は H.W. さんご本人からその研究についてお話をして頂きました。

なんでも、『地球の熱』を司る放射性物質の崩壊時に発生するニュートリノ観測の発展を目指して、地球科学や海洋工学などの異分野と連携して研究を行っている、そうで（難しい・・・）、東北大学が主導している岐阜県の神岡鉱山内でのカムランド実験（???)に参加されたりしているそうです。聞き慣れない単語ばかりでしたが、とにかく、『物質の起源』を解明し宇宙の始まりや未来を探求していく☆彡 というロマン溢れるお仕事であることはとても分かりました。お話の最中の H.W. さんの瞳もキラキラと輝いていました。でも日本ではまだまだ女性研究者の少ない研究分野だそうで、H.W. さんは貴重な現役研究者。これからの若い女性が憧れとする存在になると思います。

拍手のあとはお食事の前に皆で記念撮影。そして今年もまた美味しいお料理を頂きながら、一人一人の近況報告に耳を傾けました。今年はコロナも収束し世の中が明るく活発化することが期待されます。私たちも元気に頑張りましょう!と、皆が笑顔で過ごした素敵な一日でした。



研究のお話をしてくださった H.W. 会員（前列中央）。理科好きの女子学生にとって、頼もしい存在。

チャイルド・ファンド・ジャパン

Y. M.

仙台支部では今年度も引き続き、チャイルド・ファンド・ジャパンを通して南部ミンダナオ南コタバト州の A. B. さん（14 歳）を支援しています。毎年送られてくる顔写真入りのプロフィール・データによると、好きな遊びは球技、好きな食べ物は麺類と野菜、7 月末に進級の予定とのことでした。

新しい会員の方のために、仙台支部がこの奨学金を贈ることになった経緯を簡単にご説明いたします。私が子供の頃、母（S. M.）が教会のメンバーとチャイルド・ファンド・ジャパンの前身である里親運動に参加していました。教会のお嬢さんがフィリピン（マザーテレサの元）留学中に、現地の方を助けて亡くなられたことがきっかけだったそうです。その後、大学女性協会の全国総会が秋田市で開催された際に、金沢支部がインドの女子に奨学金を贈っていることを知りました。仙台支部も国際奨学金活動に参加してはどうかと皆様にご提案したところ、ご賛同をいただいで現在に至っております。A. B. さんの成長を、皆さんで見守っていきましょう。



仙台支部が支援している A. B. さん。フィリピンでは 2020 年 3 月から 2022 年 2 月までの 2 年間、学校での対面授業を取りやめていた。その間、保護者が週に一度学習教材を取りに行き、チャイルドは自宅で宿題に取り組む「モジュール学習」という方式がとられていた。

◆ 今後の予定 ◆

- 8 月 23 日（水） 交流会 話題提供：A. I. 会員「音楽と私」
エル・パーク仙台 特別会議室
- 9 月 22 日（金） 公開講演会 講師：吉川貴子会員
- 10-11 月 鑑賞会 七十七銀行金融資料館

仙台支部便り「けやき」No.25

2023 年 6 月 30 日 発行

発行 （一社）大学女性協会仙台支部